
為替相場展望

2013年1月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

目次

- ◆為替相場概説 p. 1
- ◆ドル円、ユーロ相場の回顧 p. 2
- ◆日米の金融政策とドル円相場 p. 3
- ◆ECBの金融政策・為替需給・ユーロ圏景気とユーロ相場 p. 4
- ◆トピックス：安倍新政権下での円安相場の持続性 p. 5
- ◆ドル円、ユーロ相場の見通し p. 7
- ◆内外市場データ p. 8

調査部 マクロ経済研究センター
井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2013年1月8日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

為替相場概説 (2013年1月)

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<12月のドル円相場>

米F R Bによる量的緩和拡充や衆院選での自民党の圧勝を受けて、日銀の金融緩和への期待が高まるなか、円安ドル高が進行。その後、米財政協議が難航する場面があったものの、ほとんど材料視されない一方で、日銀の金融緩和への期待が一段と高まるなか、月末にかけて86円台まで円安ドル高が進行。

<12月のユーロ相場>

E C Bによる経済見通し引き下げやイタリア首相の辞意表明を受け、ユーロ安に振れる場面はあったものの、ギリシャ支援再開や銀行監督一元化が合意されたほか、日銀の金融緩和への期待が高まったことから、月末にかけて114円台まで円安ユーロ高が進行。

2. 日米の金融政策とドル円相場

米F R Bは、15年半ば以降とみられる超低金利政策解除時期よりも先に量的緩和を終了する可能性がある一方、日銀は、インフレ目標を導入した上で、目標達成に向けて量的緩和拡大を余儀なくされる公算大。もっとも、中央銀行のマネタリーベースの拡大と通貨安の関係は必ずしも明確ではなく、実際にF R Bが量的緩和を停止する一方、日銀が量的緩和を続けるような状況になっても、持続的に円安誘導できるとは限らず。

3. E C Bの金融政策・為替需給・ユーロ圏景気とユーロ相場

7月末にドラギE C B総裁がユーロ防衛を表明して以降、E C Bや欧州各国による危機対策が進展したことにより、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。対ドルでユーロ安が進みにくくなった背景として、①独米金利差の低下余地の乏しさ、②国際収支面でのユーロ圏への資金流入回復、等も指摘可能。もっとも、持ち直しが期待薄なユーロ圏景気や、根強く残るE C Bへの金融緩和期待により、徐々にユーロ軟調地合いへ。

4. トピックス：安倍新政権下での円安相場の持続性

ドル円相場は米日2年債利回り格差に見合う水準から大幅に乖離して円安ドル高が進行。名目金利差に変化がなくても、日銀の大胆な金融緩和により、わが国のインフレ率が米国以上に上昇するとの思惑が強まれば、円の購買力低下への期待を通じて、円安ドル高が進行するとの説明が可能。足許の円安がわが国の期待インフレ率の上昇に裏付けられているかは判然としないものの、今後、日銀の大胆な緩和策がデフレ脱却に十分な効果を発揮しないとの見方が強まれば、日米金利差に見合う水準まで揺り戻しが生じるリスク。

円安を主導してきた主体は、海外投機筋。しかも、金利差益を期待した取引というよりは、為替差益を期待した取引が中心である可能性。海外投機筋のポジションは金融危機前の最高水準に到達しておらず、円安進行余地が残っている可能性はあるものの、為替差益のみを期待した取引が中心であれば、一段の円安進行が見込み薄となった時点で利益確定のためにポジションが巻き戻される可能性。今後、市場が期待する政策の実現性や効果が乏しいとみなされれば、それをきっかけに円高方向に揺り戻しが生じる可能性。

5. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

為替需給面で円高圧力が減退していることに加え、安倍新政権下での日銀の大胆な金融緩和への期待が高まるなか、円弱含みの展開が続く見通し。もっとも、大胆な緩和策の実現性や効果には不確実性が残るほか、米F R Bの超低金利政策の長期化が見込まれることから、追加の円安進行余地は限られ、円安基調定着にはなお時間がかかる公算大。

<ユーロ相場の見通し>

E C Bや欧州各国による危機対策進展により、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。もっとも、ユーロ圏景気の持ち直しが期待薄なほか、E C Bへの金融緩和期待が根強く残るとみられることから、徐々にユーロ軟調地合いに転じる見通し。

安倍新政権下での日銀の金融緩和への期待が高まるなか、対ドル、対ユーロともに円安が進行。

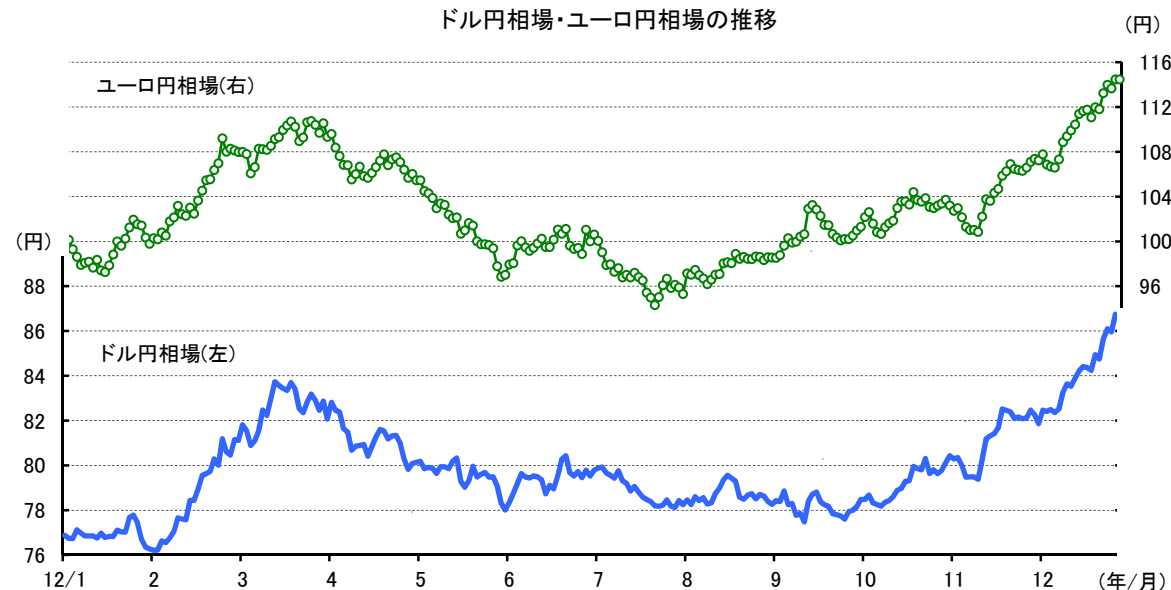
<12月のドル円相場>

上旬は、米国の財政協議が進展しないなか、82円台でドルの上値が重い展開が続いたものの、米FRBが11～12日のFOMCで量的緩和の拡充を決定したことや、16日の衆院選でデフレ脱却・円高是正を掲げる自民党が圧勝したことを受けて、日銀の金融緩和への期待が高まったほか、米国の「財政の崖」問題の早期解決への期待も高まったことから、19日には84円台後半まで円安ドル高が進行。その後、米国の財政協議が難航したものの、ほとんど材料視されない一方で、安倍新政権下での日銀の金融緩和への期待が一段と高まるなか、月末にかけて86円台後半まで円安ドル高が進行。

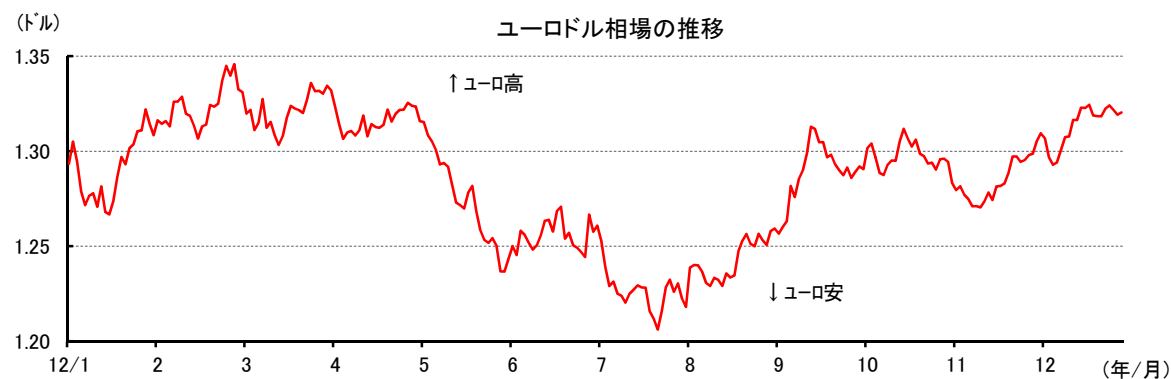
<12月のユーロ相場>

月初にギリシャ政府が発表した国債の買い戻し条件が好感され、5日にかけて一時107円台後半までユーロが上昇。その後、ECBが6日の理事会でユーロ圏の経済見通しを引き下げたほか、8日にモンティ伊首相が辞意表明したこと等を受けて、一旦は106円割れまでユーロが反落。もっとも、その後は、①ユーロ圏財務相会合でのギリシャ支援再開の正式決定(13日)、②EU首脳会議での銀行監督一元化承認(14日)、③わが国衆院選での自民党の圧勝(16日)、等の円安ユーロ高材料が相次ぐなか、19日には112円台半ばまでユーロが反発。その後も安倍新政権下での日銀の金融緩和への期待が一段と高まるなか、月末にかけて114円台後半までユーロが上昇。

ドル円相場・ユーロ円相場の推移



ユーロドル相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

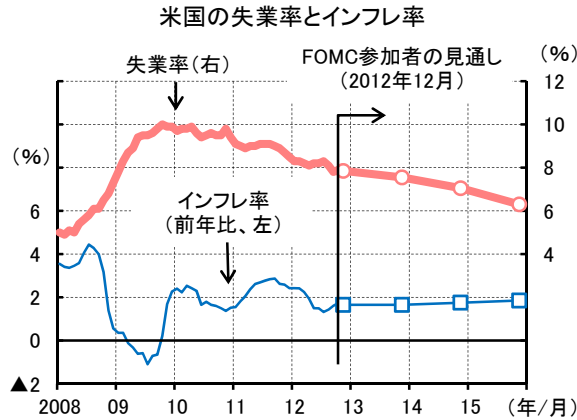
米FRBが量的緩和を停止する一方、日銀が量的緩和を続けるような状況になっても、持続的に円安誘導できるとは限らず。

米FRBは、12月11～12日のFOMCで、①12年末終了のツイスト・オペの代替策として長期国債の買い入れ、②超低金利政策の継続が正当化される期間を日付から指標にリンクさせる方法に変更すること、を決定。具体的には、「15年半ばまで」から「失業率が6.5%を上回り、かつ1～2年先のインフレ予想が2.5%を上回らず、長期の期待インフレ率が安定している限り」に変更。FOMC参加者の経済見通しに基づけば、15年半ばまで現行の超低金利政策が維持されるとの見方で不変。

もっとも、FOMC声明文やバーナンキFRB議長の見聞を踏まえると、6.5%の失業率や2.5%のインフレ予想にリンクしているのはあくまで超低金利政策が正当化される期間であり、資産の買い入れ(量的緩和)はこれよりも先に終了する可能性。

一方、日銀は、12月19～20日の会合で、資産買入等基金の増額を決定すると同時に、「中長期的な物価安定の目的」の見直し検討に着手。日銀は、政府と一体となってデフレ脱却を進める姿勢をより明確に示すため、1月の会合で、インフレ目標の導入に踏み切る公算。インフレ目標が導入されれば、政府や市場からは、目標達成に向けて資産買入増額などの追加緩和圧力が強まる公算大。

今後、米FRBが量的緩和を停止するとの思惑が強まれば、一時的に円安ドル高に振れる可能性。もっとも、中央銀行のマネタリーベースの拡大と通貨安の関係は必ずしも明確ではなく、実際に米FRBが量的緩和を停止する一方、日銀が量的緩和を続けるような状況になっても、持続的に円安誘導できるとは限らず。



(資料)米FRB、労働省、商務省
(注)インフレ率は、PCEデフレーター。FOMC見通しは、中心レンジの中央値を表示。

FOMC参加者の経済見通し(12月)

	2012年	2013年	2014年	2015年	中長期
実質GDP成長率	1.7~1.8	2.3~3.0	3.0~3.5	3.0~3.7	2.3~2.5
9月時点の見通し	1.7~2.0	2.5~3.0	3.0~3.8	3.0~3.8	2.3~2.5
失業率	7.8~7.9	7.4~7.7	6.8~7.3	6.0~6.8	5.2~6.0
9月時点の見通し	8.0~8.2	7.6~7.9	6.7~7.3	6.0~6.8	5.2~6.0
PCEデフレーター	1.6~1.7	1.3~2.0	1.5~2.0	1.7~2.0	2.0
9月時点の見通し	1.7~1.8	1.6~2.0	1.6~2.0	1.8~2.0	2.0
コアPCEデフレーター	1.6~1.7	1.6~1.9	1.6~2.0	1.8~2.0	-
9月時点の見通し	1.7~1.9	1.7~2.0	1.8~2.0	1.9~2.0	-

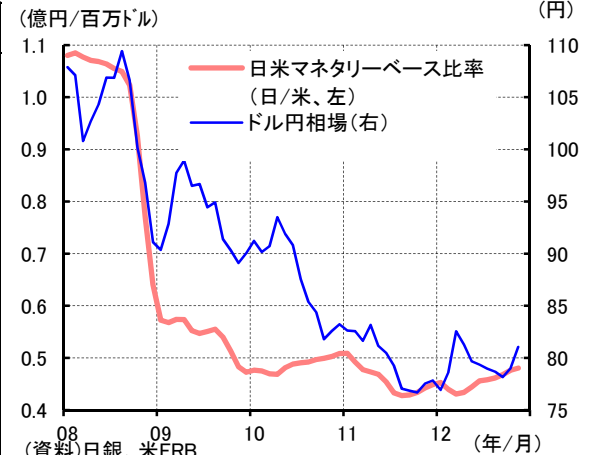
(資料)米FRBをもとに日本総研作成
(注)成長率、インフレ率は、第4四半期の前年比、失業率は、第4四半期。

日米欧主要中央銀行の中長期的な物価目標

	日本銀行	米連邦準備制度	欧州中央銀行	イングランド銀行
名称	中長期的な物価安定の目的	長期的な物価目標	物価安定の量的定義	インフレ目標
英語名	price stability goal in the medium to long term	longer-run goal	quantitative definition of price stability	inflation target
目標物価	消費者物価指数の前年比上昇率	個人消費支出デフレーターの前年比上昇率	統一消費者物価指数の前年比上昇率	消費者物価指数の前年比上昇率
目標数値	2%以下のプラス領域、当面は1%	2%	2%未満でその近辺	2±1%
目標設定主体	中央銀行	中央銀行	中央銀行	政府

(資料)各国中央銀行資料より日本総研作成

日米マネタリーベース比率とドル円相場



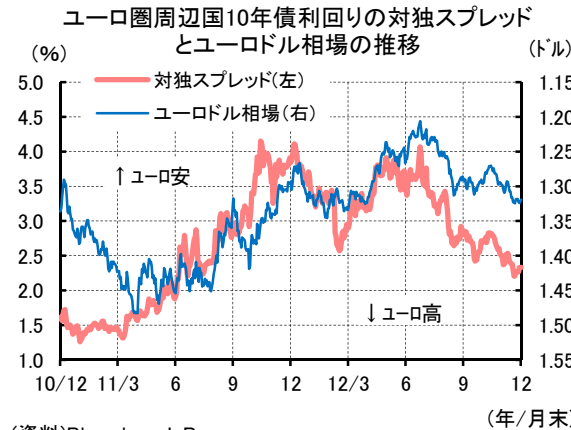
(資料)日銀、米FRB
(注)日米マネタリーベース比率は3カ月移動平均。

ECBや欧州各国による危機対策進展により、大幅なユーロ安進行リスクは後退するも、ユーロ圏景気の悪化持続等を背景に、徐々にユーロ軟調地合いへ。

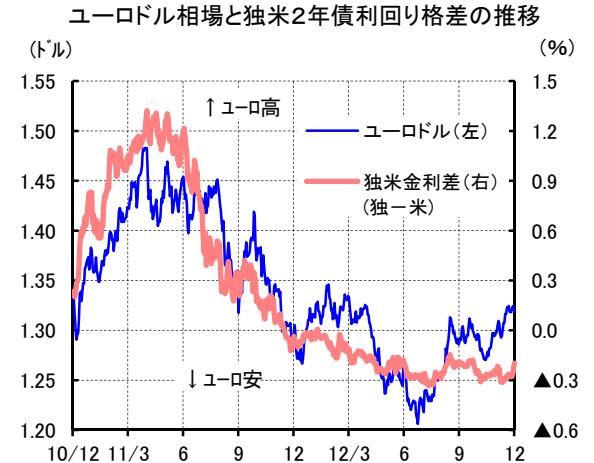
ユーロは対ドルで12月入り後も堅調な推移が持続。7月末にドラギECB総裁がユーロ防衛を表明して以降、①ECBによる無制限の国債買入策発表(9月)、②ESMの正式稼動(10月)、③ギリシャ支援合意(11月)、④銀行監督の一元化合意(12月)、などの危機対策が進展したことにより、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。欧州債務問題の深刻度合いを象徴する周辺国債の対独スプレッドも概ね安定的に推移。

対ドルでユーロ安が進みにくくなった背景として、①金利差の観点では、ECBが昨年7月に預金ファシリティ金利をゼロに引き下げて以降、独金利がゼロ近傍まで低下し、独米金利差の縮小余地が乏しくなったこと、②為替需給の観点では、対内証券投資の持ち直しや経常収支の改善により、ユーロ圏への資金流入が回復していること、等も指摘可能。

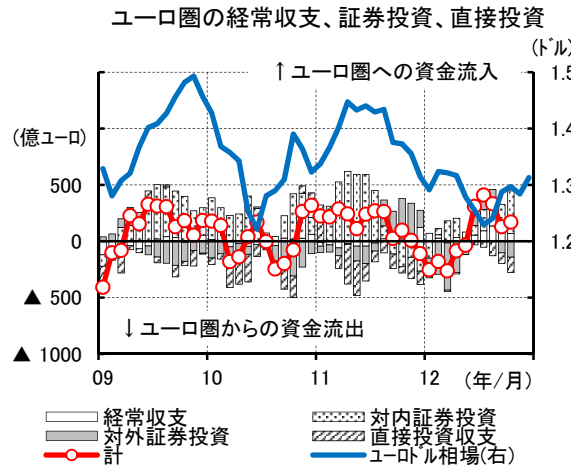
もともと、徐々にユーロ軟調地合いに転じる見通し。米国では、財政政策を巡る不透明感が払拭されれば、景気回復基調が明確化してくることが見込まれるのに対し、ユーロ圏では景気の持ち直しは期待薄なほか、ECBへの金融緩和期待も根強く残ると予想されることが主因。12月6日のECB理事会で発表されたスタッフ見通しでは、2013年の実質GDP成長率、消費者物価上昇率がともに大幅下方修正。12月の理事会では金融政策の据え置きを決定したものの、ドラギECB総裁は理事会後の会見で、政策金利の引き下げについて議論を行ったことに言及し、近い将来の追加利下げ実施に含み。



(資料)Bloomberg L.P.
 (注)ユーロ圏10年債の対独スプレッド算出の対象は、2001年までのユーロ加盟国(除ルクセンブルク)とし、2011年の名目GDPで加重平均。



(資料)Bloomberg L.P. (年/月末)



(資料)ECB、Bloomberg L.P.
 (注)いずれも3ヵ月移動平均。

ECBスタッフの経済見通し

(単位: %)

		2012年	2013年
実質GDP成長率	今回	▲0.6~▲0.4	▲0.9~+0.3
	(12月)	<▲0.5>	<▲0.3>
インフレ率(HICP)	今回	-	+1.1~+2.1
	(12月)	<+2.5>	<+1.6>
直接投資収支	前回	▲0.6~▲0.2	▲0.4~+1.4
	(9月)	<▲0.4>	<+0.5>
対外証券投資	今回	-	+1.1~+2.1
	(12月)	<+2.5>	<+1.6>
経常収支	前回	+2.4~+2.6	+1.3~+2.5
	(9月)	<+2.5>	<+1.9>

(資料)ECB
 (注)< >内はECBスタッフの見通しレンジの分布が左右対称と仮定した場合の中央値。

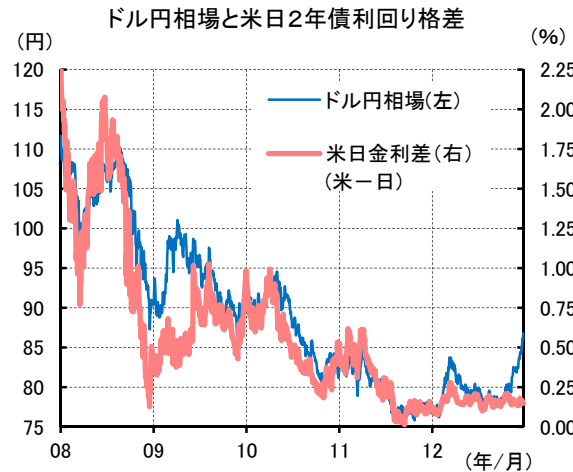
今後、日銀の大胆な緩和策がデフレ脱却に十分な効果を発揮しないとの見方が強まれば、日米金利差に見合う水準まで揺り戻しが生じるリスク。

昨年11月半ば以降、ドル円相場は米日2年債利回り格差に見合う水準から大幅に乖離して円安ドル高が進行。金利差に見合う水準から乖離して進んだ円安ドル高をどのように解釈すればよいのか。

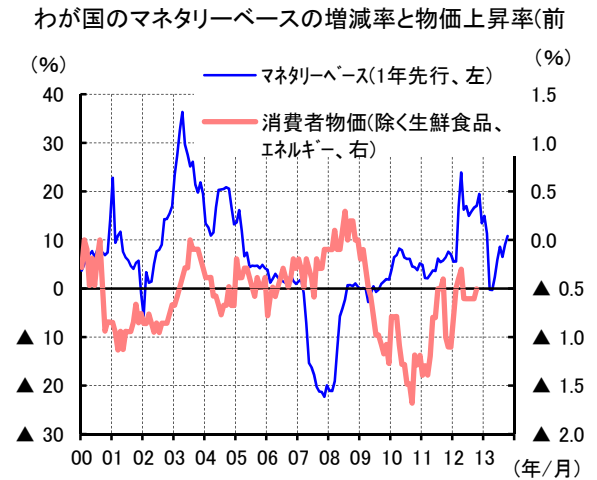
名目金利差に変化がなくても、米日の期待インフレ率に変化が生じれば、ドル円相場の変動に影響を与える可能性。長期的な為替相場の動きを説明するのに有効とされる購買力平価説に基づけば、ドル円相場の期待減価率は米日期待インフレ率格差(米-日)に一致するはず。日銀の大胆な金融緩和により、わが国のインフレ率が米国以上に上昇するとの思惑が強まれば、円の購買力低下への期待を通じて、円安ドル高が進行するとの説明が可能。

もっとも、わが国では、これまで日銀が量的緩和を拡大しても、物価が上昇しておらず、足許の日銀の大胆な金融緩和への期待により、民間経済主体の期待インフレ率が高まっているかどうかは疑わしい状況。実際に近年のわが国のマネタリーベースと物価の関係についてみると、マネタリーベースの拡大が物価上昇に結びついている様子は看取できず。

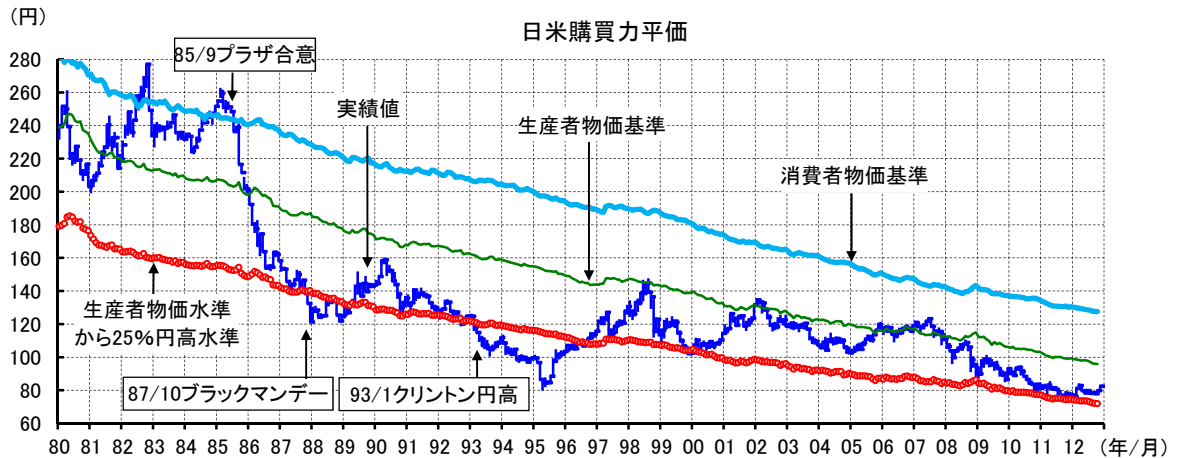
足許の円安がわが国の期待インフレ率の上昇により裏付けられているのか、単に日銀の大胆な金融緩和への「漠然とした期待」により下支えされているのかは判然としないものの、いずれにせよ、今後、日銀の大胆な緩和策がデフレ脱却に十分な効果を発揮しないとの見方が強まれば、日米金利差に見合う水準まで揺り戻しが生じるリスク。



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)日銀、総務省



(資料)日銀、総務省、米労働省、IMFをもとに日本総研作成

(注)消費者物価、生産者物価基準の購買力平価は、1973年を基準にして日本総研が試算。

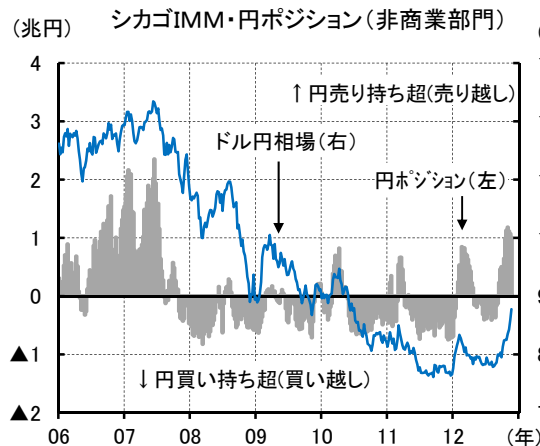
足許の円安を支えているのが為替差益のみを期待した取引が中心であれば、一段の円安が見込み薄となった時点でポジションが巻き戻される可能性。

足許にかけての円安を主導してきた主体は、海外投機筋。海外投機筋の動向を示すシカゴ IMM 通貨先物取引(非商業部門)では、円売りポジションが金融危機後の最高水準にまで拡大。一方、国内投資家の対外証券投資や、在日外銀の本支店勘定の資産残高が示す「円キャリートレード」は盛り上がりを欠いた状態。

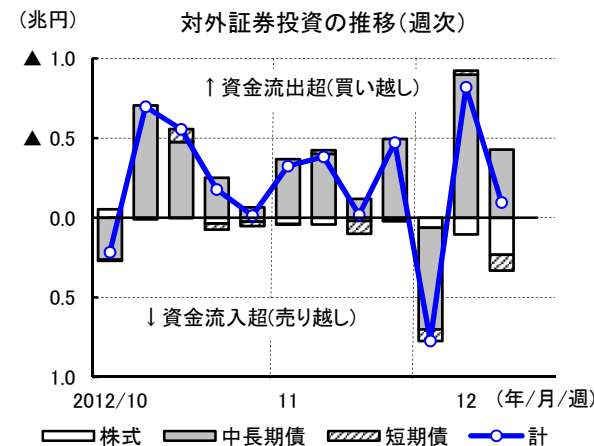
金融危機前の円安進行局面では、海外投機筋の円売りポジションが大きく積み上がったほか、「円キャリートレード」も活発化。背景としては、内外金利差が十分に大きく、為替リスクに見合う金利差益を期待できたことを指摘可能。一方、今回の円安は、金利差の拡大を伴わないなかで生じており、金利差益を期待した円売りとは言えず。

金利差益を期待できなくても、近い将来に一段の円安が予想される状況では、為替差益を期待した円売りが増加し、直物為替レートが円安に振れる可能性。実際、市場参加者が円安・円高いずれの予想に傾いているかを示すリスク・リバーサル指標は、市場が円安予想に傾いていることを示唆。もっとも、為替差益のみを期待した取引は、一段の円安進行が見込めない限り、ポジションを保有しておくメリットは小。

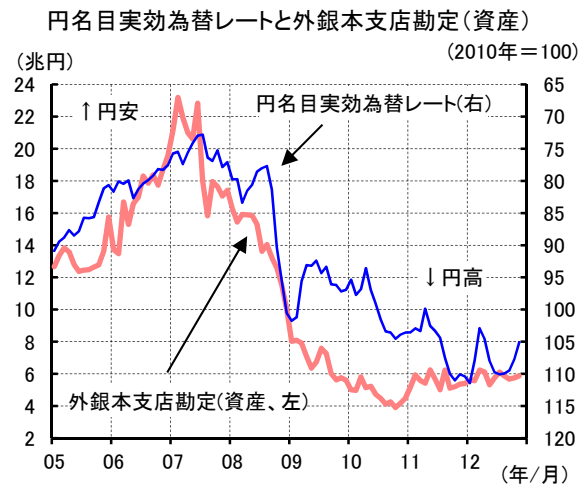
海外投機筋のポジションは金融危機前の最高水準に到達しておらず、円安進行余地が残っている可能性があるものの、足許の円安を牽引しているのが為替差益のみを期待した取引が中心であるとすれば、一段の円安進行が見込み薄となった時点で利益確定のためにポジションが巻き戻される可能性。今後、市場が期待する政策の実現性や効果が乏しいとみなされれば、それをきっかけに円高方向に揺り戻しが生じる可能性。



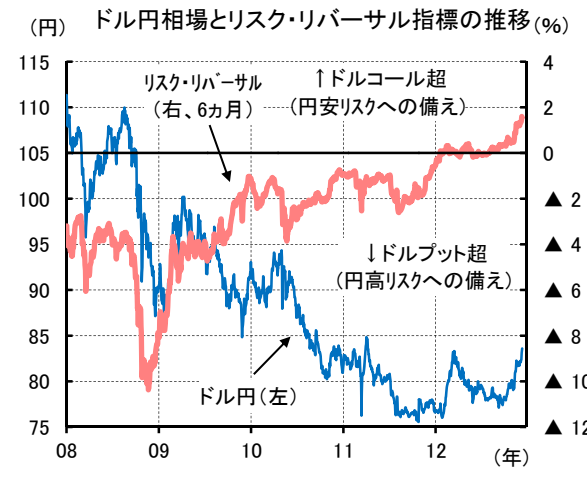
(資料)米CFTC
(注)直近値は12/31。



(資料)財務省「対外及び対内証券売買契約等の状況」
(注)指定報告機関ベース。直近週は、12/16～22。



(資料)日銀



(資料)Bloomberg L.P.

ドル円：円弱含みの展開が続く見込みながら、追加の円安進行余地は限定的。 ユーロ：大幅なユーロ安進行リスクは後退するも、徐々にユーロ軟調地合いへ。

<ドル円相場の見通し>

為替需給面で円高圧力が減退していることに加え、デフレ脱却・円高是正を掲げる安倍政権下での日銀の大胆な金融緩和への期待が高まるなか、円弱含みの展開が続く見通し。もっとも、市場が期待する大胆な緩和策の実現性や効果には不確実性が残るほか、米国では債務上限の引き上げが先送りされるなど、米財政政策を巡る市場混乱のリスクが払拭されないなか、追加の円安進行余地は限られる見通し。

米国で財政政策を巡る不透明感が払拭されれば、米国景気の回復基調が明確化してくることが予想され、円弱含みの地合いを下支えする見通し。もっとも、FRBの超低金利政策の長期化が見込まれるなか、円安ドル高基調定着にはなお時間がかかる公算大。

<ユーロ相場の見通し>

昨年7月末にドラギECB総裁がユーロ防衛を表明して以降、ECBや欧州各国による危機対策が進展したことにより、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。

わが国安倍政権下での日銀の大胆な金融緩和への期待が高まるなか、日銀正副総裁人事が行われる今春頃までは、対円でユーロの堅調な推移が続く見通し。

もっとも、ユーロ圏景気の持ち直しが期待薄なほか、ECBへの金融緩和期待が根強く残ると予想されることから、対円、対ドルともに徐々にユーロ軟調地合いに転じる見通し。

ドル円相場見通し

	2012年		2013年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	81.2	86	85	84	85
(高値)	86.8	90	90	88	89
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	77.8	80	79	79	80

予測

ユーロ円相場見通し

	2012年		2013年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	105.3	113	110	107	106
(高値)	114.7	117	115	112	112
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	99.8	105	103	100	100

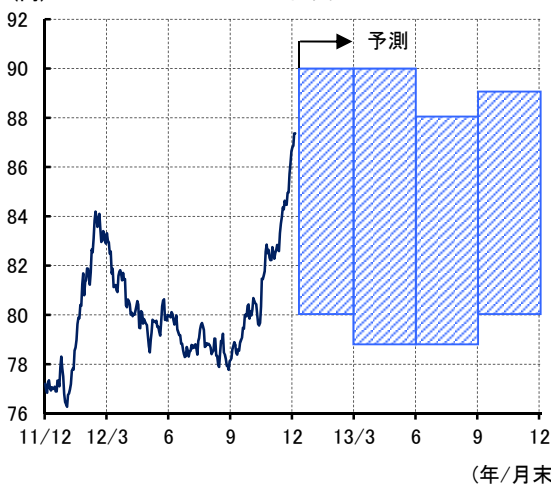
予測

ユーロドル相場見通し

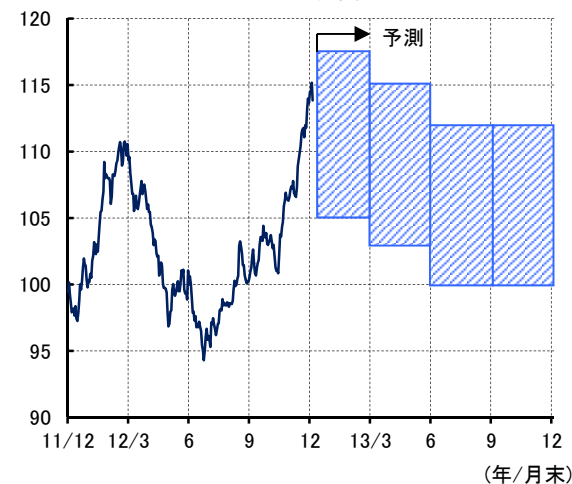
	2013年				
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	1.30	1.31	1.29	1.27	1.25
(高値)	1.33	1.36	1.34	1.32	1.30
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.28	1.26	1.24	1.22	1.20

予測

ドル円相場見通し



ユーロ円相場見通し



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担O/N (%)	TIBOR 3カ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF0/N (%)	LIBOR 3カ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3カ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユー・ ストック50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
09/1	90.36	120.10	1.3288	0.1202	0.73	1.25	8331.49	0.15	1.21	2.46	8396.20	865.58	1.81	2.46	3.09	3.36	2340.04	41.92	862.68
09/2	92.85	118.87	1.2805	0.1108	0.71	1.29	7694.78	0.22	1.24	2.85	7690.50	805.23	1.26	1.94	3.16	3.60	2159.84	39.26	941.80
09/3	97.74	127.76	1.3074	0.1000	0.68	1.30	7764.58	0.18	1.27	2.80	7235.47	757.13	1.06	1.64	3.06	3.20	1993.93	48.06	926.85
09/4	98.93	130.65	1.3207	0.1037	0.62	1.44	8767.96	0.15	1.11	2.90	7992.12	848.15	0.84	1.42	3.19	3.36	2257.10	49.95	890.82
09/5	96.51	131.91	1.3672	0.1021	0.58	1.44	9304.43	0.18	0.82	3.30	8398.37	902.41	0.78	1.28	3.42	3.63	2426.68	59.21	930.38
09/6	96.67	135.47	1.4014	0.1040	0.56	1.47	9810.31	0.21	0.62	3.70	8593.00	926.12	0.70	1.23	3.55	3.82	2449.02	69.70	945.56
09/7	94.45	133.05	1.4086	0.1016	0.56	1.34	9691.12	0.16	0.52	3.53	8679.75	935.82	0.36	0.98	3.36	3.81	2462.09	64.29	935.05
09/8	94.92	135.40	1.4266	0.1057	0.55	1.37	10430.35	0.16	0.42	3.57	9375.06	1009.72	0.35	0.86	3.33	3.69	2702.65	71.14	949.73
09/9	91.39	133.10	1.4564	0.1025	0.53	1.31	10302.87	0.15	0.30	3.39	9634.97	1044.55	0.36	0.77	3.29	3.66	2827.93	69.47	997.95
09/10	90.31	133.83	1.4818	0.1061	0.53	1.33	10066.24	0.12	0.28	3.36	9857.34	1067.66	0.36	0.74	3.23	3.54	2865.49	75.82	1045.02
09/11	89.11	133.01	1.4928	0.1053	0.52	1.35	9640.99	0.12	0.27	3.38	10227.55	1088.07	0.36	0.72	3.28	3.71	2843.77	78.15	1131.67
09/12	90.05	131.15	1.4568	0.1011	0.47	1.26	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	1110.38	0.36	0.71	3.23	3.84	2907.65	74.60	1126.72
10/1	91.22	130.20	1.4272	0.0964	0.45	1.33	10661.62	0.11	0.25	3.71	10471.24	1123.58	0.34	0.68	3.29	3.97	2922.72	78.40	1117.09
10/2	90.16	123.35	1.3682	0.1007	0.44	1.33	10175.13	0.13	0.25	3.68	10214.51	1089.16	0.34	0.66	3.19	4.02	2727.48	76.45	1097.81
10/3	90.72	123.12	1.3574	0.0973	0.44	1.34	10671.49	0.16	0.27	3.72	10677.52	1152.05	0.35	0.65	3.13	4.02	2890.47	81.29	1114.57
10/4	93.49	125.54	1.3428	0.0929	0.41	1.35	11139.77	0.20	0.31	3.82	11052.15	1197.32	0.35	0.65	3.09	3.99	2937.30	84.58	1149.50
10/5	91.88	115.21	1.2535	0.0908	0.39	1.27	10103.98	0.20	0.46	3.40	10500.19	1125.06	0.34	0.69	2.80	3.72	2642.13	74.12	1206.58
10/6	90.81	110.89	1.2212	0.0948	0.39	1.20	9786.05	0.18	0.54	3.19	10159.27	1083.36	0.35	0.73	2.63	3.49	2641.66	75.40	1233.98
10/7	87.56	112.09	1.2803	0.0944	0.37	1.10	9456.84	0.18	0.51	2.98	10222.24	1079.80	0.48	0.85	2.65	3.38	2669.50	76.38	1192.99
10/8	85.37	110.12	1.2898	0.0950	0.37	0.98	9268.23	0.19	0.36	2.68	10350.40	1087.28	0.43	0.90	2.37	3.07	2712.23	76.67	1217.90
10/9	84.38	110.47	1.3093	0.0912	0.36	1.06	9346.72	0.19	0.29	2.64	10598.07	1122.08	0.45	0.88	2.34	3.02	2766.09	75.55	1272.30
10/10	81.80	113.69	1.3900	0.0909	0.34	0.89	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	1171.58	0.70	1.00	2.37	2.96	2817.71	81.97	1344.78
10/11	82.58	112.61	1.3641	0.0906	0.34	1.05	9797.18	0.19	0.29	2.74	11198.31	1198.89	0.59	1.04	2.56	3.20	2809.64	84.31	1371.80
10/12	83.22	110.06	1.3227	0.0869	0.34	1.19	10254.46	0.18	0.30	3.28	11465.26	1241.53	0.50	1.02	2.96	3.50	2825.58	89.23	1392.60
11/1	82.62	110.49	1.3374	0.0848	0.34	1.21	10449.53	0.17	0.30	3.36	11802.37	1282.62	0.66	1.02	3.05	3.60	2900.69	89.58	1361.02
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	89.74	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	102.98	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	110.04	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	101.36	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	96.29	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	97.34	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	86.34	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.61	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	86.43	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	97.16	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	98.58	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	100.32	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	102.26	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	106.20	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	103.35	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	94.72	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	82.41	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	87.93	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	94.16	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	94.56	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	89.57	1744.43
12/11	81.05	104.07	1.2838	0.0856	0.32	0.74	9059.86	0.16	0.31	1.65	12896.44	1394.51	0.08	0.19	1.39	1.79	2513.98	86.73	1722.91
12/12	83.91	110.16	1.3127	0.0822	0.32	0.74	9814.38	0.16	0.31	1.71	13144.18	1422.29	0.07	0.19	1.35	1.85	2625.55	88.25	1683.45